

産前産後期間の国民年金保険料が免除に

保険料が免除されるには届出が必要ですが、

▼対象者

「国民年金第1号被保険者」で
出産日が平成31年2月1日以降
の方

▼免除される期間

出産*予定日または出産日が属
する月の前月から4カ月間(多胎
妊娠(2人以上の赤ちゃんを同時
に妊娠)の場合は、出産予定日ま
たは出産日が属する月の3カ月
前から6カ月間)
※出産とは、妊娠85日(4カ月)
以上の出産をいいます(死産、流
産、早産を含む)。

▼届出時期

出産予定日の6カ月前から出

産後いつでも

▼届出方法

日本年金機構ホームページや
(市)市民課年係の窓口にある申
出書に必要事項を記入し、母子健
康手帳、医療機関が発行した証明
書など出産日を明らかにする書
類を、同窓口に持参、または郵送
(コピーを添付)してください。
詳しくは、日本年金機構ホーム
ページをご覧ください。

問・ねんきんダイヤル

☎0570-051165
・(市)市民課年係



▲ホームページ
はこちら

がん患者サロン

▼日時 3月3日(水)
午後2時～4時

▼場所 北播磨総合医療センター
2階患者教室

問・申込 北播磨総合医療センター

がん相談支援センター
(患者総合サポートセン
ター)

☎88-88000



介護職員の継続した就労を支援

介護サービスを担う介護職員の
資質向上と人材育成を図るため、介
護福祉士資格の取得に要する費用
の一部を助成します。

▼対象

①市内の介護保険関係事業所に勤
務し、今後とも同事業所で継続し
て(少なくとも3年以上)働く意
思がある
②過去に本事業の助成を受けてい
ない
③国や兵庫県などによる類似の助
成(教育訓練給付金など)を受け
ていない
④市税などを滞納していない
(①③は調査により、助成金を返
還していただく可能性があります)

▼助成額

受験手数料(1月31日実施分)
および実務者研修の受講料の合
計額の2分の1に相当する額
(1,000円未満端数切り捨て)
〔上限10万円〕

▼申請期間

2月26日(金)まで
提出書類など、詳細は問い合わせ
てください。

問・申請 (市)介護保険課 認定審査係



普通救命講習(I・II)

(I) 基礎的な心肺蘇生やAEDを
使った講習など

(II) (I)に加え、筆記試験や実技試験

▼日時

(I) 2月13日(土)
午前9時～正午
(II) 2月14日(日)
午前9時～午後1時

▼場所 消防本部



▼定員 先着各20名

▼申込方法 電話か窓口で申し込
んでください。

問・申込 (市)消防署 救急救助課

☎89-0173

人権の目

205

思いやりの心でコロナをのりきろう

令和2年度「差別をなくする輪をひろげよう」市民運動作品

作文 小学校5・6年の部 優秀賞

自由が丘小学校6年 永野 海空

今年の3月に新型コロナウイルス感染症の拡大のため学校が休みになりました。その休校が5月まで続きました。その間に

ぼくが思った事です。ぼくのお母さんは看護師をしています。看護師は人を助ける仕事なので、ぼくは誇りに思っています。お母さんは仕事から帰ってくるのが夜おそくなるし、夜勤もありです。仕事で疲れて家の仕事をした後はすぐにねてしま

う日もあります。ですが、このコロナウイルスが全国に広がりはじめたとたん、お母さんの仕事はもっと大変になり

ました。ぼくは早くコロナウイルスがおさまってほしいと願っていました。でもコロナウイルスは、どんどん勢いを増し、とうとう1日で100人をこえるほど感染者が増えてしまいました。

お母さんの職場では感染者は出ていませんでしたが、医りよう関係の仕事の人が親というだけアフタースクールに行けなくなったり、学校でコロナ呼びわりしていじめられたりというニュースを見て、ぼくのこともお母さんは心配していました。コロナウイルスが広がりが感染者や周辺へのひぼう中傷があ

を断ちません。感染をした人が悪いわけではないのにSNSでは感染者を特定しようしたり、実際に差別発言をされたりしているのをニュースで見ると、ぼくはなぜそういう考えになるのかと強く思いました。

他にも宅配サービスの仕事をしている人が料理をもって来ても宅配の人にば声をあびせる客もいたり、ゴミ収集の仕事をしている人にも差別的な言葉を発したりしている人がいる事を聞いて、ぼくはコロナウイルスが怖いのはわかるけど、だからってなにもだれかに自分のストレスをぶつけるのはちがうのではない

と思います。差別には、男女差別や障害者差別や人種差別など、たくさんあります。それだけでなくコロナの事でも差別をするなんて何かがおこるたびに差別をするのは、おかしいと思います。

コロナの感染者はまだ減ってきていません。不安な日が続いています。だからこそ、自分も周りの人も大切にしていかなければいけないと思います。一人一人がコロナの感染に気を付けることと、感染した人やその周りの人には早く治ってほしいという思いやりの気持ちでコロナをのりきっていきたいです。